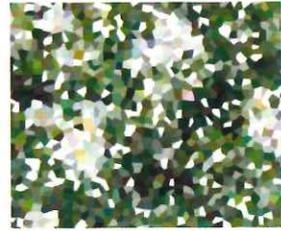


佐倉ばら会通信

Sakura Rose Society



No.
4
2014.April

事務局

住所：佐倉市宮ノ台 3-2-5 ホワイトハウスA5 TEL：080-5966-1187

URL：http://rose-society.net（公式サイト）

鈴木省三生誕100年記念祭

ミスターローズの業績を多角的に探る **ばらの夢を未来につないで**

基調講演・パネルディスカッション・記念展示等 盛況裏に終わる

平成 25 年 (2013 年) は、日本のバラの父と称される故鈴木省三 (すずき せいぞう) 氏の生誕 100 年にあたりました。鈴木氏は生涯に 130 以上の品種のバラを創り出し、世界のバラ育種家の中で、「ミスターローズ」と呼ばれています。

及び展示室内の管理、記念講演会時の受け付け業務等を担当いたしました。

11 月 3 日 (日) には、鈴木省三生誕 100 年記念式典が、佐倉市立美術館の 4 階ホールで開かれました。開会式後の基調講演では、南フランスのプロヴァンスにある世界的な

バラ種苗会社の社長で、毎年数多くの品種を創り出し、多くの受賞歴を持つ世界的なバラの大家でもあるアラン・メイアン氏が、「同時代の育種家からみた鈴木省三」と題して、鈴木省三氏との関わりなどを語り、今後も、バラの素晴らしさを世界に発信していくのは、佐倉が一番ふさわしいこと、日本の育種家に期待することとして、バラ



講演するアラン・メイアン氏

の持つ特性全てについて、地域の特性を生かしていく必要があること、などについて述べられました。続いて行われたパネルディスカッションでは、「日本のバラの育種」をテーマに、吉池貞蔵氏、武内俊介氏、河合伸志氏が、実際のバラの育種からみた現状、今後の課題等について活発な話し合いが行われました。なお、基調講演に先立ち、



パネルディスカッション

鈴木省三生誕 100 年を記念して、佐倉草ぶえの丘バラ園内の、鈴木省三コーナーに、同夫妻のレリーフが寄贈され、関係者に感謝状が贈られました。レリーフの制作は、彫刻家の小林耕二郎氏、寄贈者は、佐倉ばら会の顧問でもある川原邦江氏、小林勇超氏、小林康代氏、レリーフの設置台の寄贈は、町田健一氏です。



記念式典で挨拶する前原会長

鈴木氏は、バラの育種の浅い日本で、日本人の感性を生かした品種を創り出し、世界のバラコンテストでも多くのメダルを獲得し、日本のバラ界に大きな自信を与えました。

また、鈴木氏は、バラを探求することの楽しさを、いろいろな立場の人々に教えた優れた指導者でもありました。さらに、こうした日本のバラ文化の普及、発展のほかにも、開発された品種の権利を保障する種苗法の制定にも力を注ぎ、バラ界への貢献は多大なものがあります。

このような鈴木氏の遺産を受け継ぎ、園芸文化の発展に果たした業績をたどり、それらを未来に引き継ぐことを目的として、鈴木省三生誕 100 年記念祭実行委員会 (代表・前原克彦 NPO バラ文化研究所理事長、佐倉ばら会会長) の主催により、平成 25 年 10 月 31 日 (木) から 11 月 10 日 (日) まで、佐倉市立美術館を会場に、同記念祭が開催されました。佐倉ばら会でも、本事業については、協力事業として位置づけ、展示物の掲出作業の手伝い、展示期間中の受け付け

その後、夕方からは、会場を八千代市のフランスレストラン、貝殻亭に移して、記念パーティーが開かれ、参加された皆さんは、それぞれ、和やかな雰囲気の中で、交流を深めていました。

また、11月1日(金)【野村和子氏・大場秀章氏】、11月9日(土)【蓬田勝之氏・金子常郎氏・斎藤民哉氏・野村和子氏・御巫由紀氏】、11月10日(日)【上田善弘氏・武内俊介氏】には、鈴木省三氏と親交のあった皆さんによる記念講演会が開かれ、多角的な角度から、鈴木省三という人物にスポットを当て、その業績等を再認識しました。

さらに、期間中は、佐倉市立美術館 2 階展示室で、記念展示「薔薇と生きて ～鈴木省三の業績とこれから～」が開かれ、蔵書の一部、著作本、海外の育種家や研究者との交流関係、鈴木省三に関するバラの品種等のパネルが展示されました。10月31日(木)には、野村和子氏、蓬田勝之氏によるギャラリートークも行われました。なお、期間中の総入場者数は、1400 人でした。



展示に見入る来館者のみなさん

鈴木省三氏の略歴 - バラの受賞歴を中心に -

鈴木省三は、大正 2 年(1913 年)に、東京市小石川区に生まれる。昭和 6 年(1931 年)に、東京府立園芸学校(現東京都立園芸高校)に入学。卒業後は複数の園芸会社で経験を積み、昭和 13 年(1938 年)に、世田谷に「とどろきばらえん」を設立し、バラの育種に取り組む。昭和 23 年(1948 年)に、戦後初のバラ展を、銀座の資生堂ギャラリーで開催して注目を浴びる。昭和 31 年(1956 年)には、ドイツのハンブルグで開かれた国際コンクールで「天の川」が銅賞を受賞。バラの国際コンクールとしては、日本初受賞となる。昭和 33 年(1958 年)に、「京成バラ園」の創設に参画。翌年、

同所長に就任、新品種の育種に努める。昭和 45 年(1970 年)に、オランダのハーグ国際コンクールで、「かがやき」が銀賞を受賞。さらに、昭和 46 年(1971 年)に、ニュージーランド国際コンクールで「聖火」が特別南太平洋金星賞を受賞。昭和 57 年(1982 年)には、ローマ国際コンクールで「乾杯」がローマ大賞金賞を受賞。昭和 63 年(1988 年)には、「光彩」が、オール・アメリカ・ローズ・セレクションズ(AARS)金賞を受賞。昭和 64 年(1989 年)に、園芸学会功労賞を受賞。平成 9 年(1997 年)松下幸之助花の万博記念賞受賞。平成 12 年(2000 年)永眠(86 歳)。

現代バラのルーツ シリーズ④

Rosa gallica

[前原克彦佐倉ばら会会長]による、現代バラのルーツについての連載 4 回目です。

(ロサ・ガリカ) : 別名 フレンチローズ ロサ・ルブラ

今回は、赤いバラのルーツであるガリカ・ローズについて述べさせていただきます。

原産地は西アジア、南ヨーロッパとみられ、古くからこの地方では栽培されていた記録があります。古代ローマ時代に現代のフランスを中心とした広い地域が「ガリア」と呼ばれ、このことがガリカの由来となっています。また、ロサ・ルブラの別名も、赤(ルブラ)に由来するように、赤を中心とした花色が多いです。この系統のバラは、ロサ・ガリカの変種であるロサ・ガリカ・オフィキナリスを元に発展してきたと考えられています。オフィキナリスとは「薬用の」という意味で、はじめはハーブ(生薬)として使用されたということを表しています。



Rosa gallica officinalis

トピックス

「佐倉草ぶえの丘バラ園」が平成 25 年、アメリカのカリフォルニア州サン・マリノにある教育研究機関ザ・ハンティントン・ライブラリーから「殿堂入りバラ園」に選ばれました。

アメリカの財団法人 Huntington Library, Art Collection and Botanical Garden の Great Rosarians of the World program より、「殿堂入りバラ園」(Hall of Fame) に選定されたものです。The Huntington はロス・アンジェルス郊外のサン・マリノにあり、美術館、図書館、植物園を有する巨大な施設です。ポタニカルガーデンの中にバラ園があり、ボランティアとの協働で貴重品種の収集と保存をしています。約 100 年前に開設されたこの施設は、世界でも有数の研究施設を持ち、研究員が 100 名以上在籍し各分野で研究発表を行っています。

殿堂入りの理由は、「佐倉草ぶえの丘バラ園」が、バラの歴史の重要性を日本のバラ界に啓蒙することに大変貢献をしたこと、そして、ボランティアの力を結集して、貴重品種の収集と保存という偉大な仕事をしたことによるものです。NPO バラ文化研究所が 20 年近い時間をかけて継続してきた事業が、世界の人々に認められた素晴らしい出来事です。

なお、「佐倉草ぶえの丘バラ園」は、敷地面積約 11,500 平方メートル、植栽品種は約 1,050 種、植栽本数は約 2,500 株、園内は、ミスターローズこと、鈴木省三コーナー、世界の原種コーナー、歴史コーナー、アジアの原種コーナー等、15 のコーナーに分けられており、博物館的な機能を持った植栽がなされています。

日本のバラの父、鈴木省三氏から、文字通り引き継いだ原種、オールドローズを中心に世界各国から寄贈されたヘリテージローズと、年間延べ数千人にも及ぶボランティアの皆さんの汗の結晶でもあるこのバラ園に、ぜひ足を運んでみてください。また、資料室には、鈴木家から寄贈された様々な資料約 9,000 点が所蔵されています。



佐倉草ぶえの丘バラ園

佐倉ばら会企画事業から

小出邸 庭園鑑賞会 & ティータイム 平成 25 年 5 月 31 日(金)

佐倉ばら会の初めての試みとして、佐倉ばら会の会員でもある小出啓子氏の庭園鑑賞会を、平成 25 年 5 月 31 日(金)に行いました。小出啓子氏は、マラソンの監督として、有森裕子選手や高橋尚子選手など多くの選手を指導された小出義雄氏の奥様で、当日は、バラが満開に咲く五月晴れのもと、小出啓子氏が丹精込めて創られた素晴らしい庭園を、

2 班に分けて、それぞれ佐倉ばら会会長の前原克彦氏の解説を聞きながら鑑賞しました。また、庭園内にある小出氏の数々のマラソンに関係した業績を展示した資料館では、お菓子や紅茶等もふるまわれ、参加された皆さんは 5 月の午後のひと時を、ゆったりと過ごされていました。



小出邸の庭園を鑑賞

サロントーク「絵画に描かれたバラ」平成 25 年 7 月 13 日(土)

毎年好評をいただいているサロントーク。今回も、鈴木省三氏のもとで長年にわたり助手をされ、「オールドローズ花図譜」(小学館)等、多くのバラに関する著書のある、NPO バラ文化研究所副理事長、佐倉ばら会の名誉会員でもある野村和子氏によるサロントークが、平成 25 年 7 月 13 日(土)に、佐倉草ぶえの丘資料室で開かれました。今回は、「絵画に描かれたバラ」をテーマに、ドラクロワ、ゴッホ、シャガール等多くの著名な画家によって描かれたバ

ラの絵画、レオナルド・ダ・ビンチ、レンブラント、ミケランジェロ、ピカソ等著名な画家の名前がついたバラなどについて、プロジェクターを使いながら詳しく解説されました。参加された皆さんも、古くから多くの人々に親しまれてきたバラについて理解するための一つの試みとしての絵画を通じたお話に、興味深く聴き入っていました。



サロントーク

アカオハーブ&ローズガーデン 日帰りツアー 平成 25 年 10 月 18 日(金)

年 1 回行っている日帰り旅行として、平成 25 年 10 月 18 日(金)に、熱海市のアカオハーブ&ローズガーデンへのバスツアーを行いました。同ガーデンは、約 20 万坪の敷地に 12 の異なったテーマのガーデンが点在する、世界でも有数のハーブ&ローズガーデンです。その特徴は、自然の丘陵地を活用し、海を借景とした美しい背景の中に庭園が点在しています。淡い色彩で周囲と調和のとれるオールドローズやイングリッシュローズ、ツルバラ等が植え

られてありますが、植栽は綿密に計算され、その調和は見事であり、広大な面積にもかかわらず、繊細な表情を見せてくれます。ツアー当日は晴天になりましたが、前々日の台風 26 号の影響で、ガーデンもかなりの打撃を受けたということでした。それでも、ガーデンの皆さんの懸命の努力により、当日は、雄大なガーデンの素晴らしさを満喫することが出来ました。



アカオ・ハーブ&ローズガーデン

平成 25 年度の会員懇親会が、平成 26 年 3 月 2 日(日)に、八千代市のフランスレストランの貝殻亭で開かれました。これは、会員の皆さんが、一堂に会して、ゆっくりと交流出来る機会として年 1 回開かれているものです。当日参加された皆さんは、貝殻亭の特別ランチコースをいただきながら、会員の皆さんの育てていらっしゃるバラの写真等を回覧したり、平成 25 年度の佐倉ばら会の事業の思い出話等、それぞれ、楽しい交流のひとつを過ごしました。

※なお、このほか、平成 26 年 2 月 8 日(土)に、木バラの剪定講習会を開く予定でしたが、予備日の 15 日(土)も含め、降雪による悪天候のため、中止となりました。



会員懇親会

佐倉市との協働事業から

佐倉ばら会では、平成 24 年度から佐倉市との協働事業により、JR 佐倉駅北口前の景観整備事業を担当しています。これは、佐倉市の観光のテーマでもある「花」を生かし、観光客へのおもてなしの心を表現するため、佐倉市の玄関口ともいえる JR 佐倉駅北口前の景観の整備を行うもので、平成 25 年度も引き続き、通常の管理と併せ、刈り込み、草刈り、植物の植え替え等を、年 4 回(4 月・7 月・9 月・11 月)行いました。

また、佐倉市との協働事業ではありませんが、志津コミュニティセンターのミニガーデンの草刈り、植栽等も不定期に実施しました。なお、通常の管理については、志津コミュニティセンターの担当者によって行われています。



JR 佐倉駅前ガーデンの草取り

志津コミュニティセンターのガーデン

INFORMATION 佐倉ばら会の事業にご参加ください！

佐倉ばら会では、平成26年(2014年)度もいろいろな事業を計画しています。皆様のご参加をお待ちしています。現在計画中の事業の概要です。詳しくは正式決定後に、会員の皆さんには、個別にご案内を差し上げますので、ふるってご参加ください。

平成 26 年度主な事業予定

【協力事業】	【企画事業】	【協働事業等】
<ul style="list-style-type: none"> ・NPOバラ文化研究所関連の 26 年度事業 2015 年リヨンバラ大会(世界バラ会連合第 17 回世界大会 期間:2015 年 5 月 25 日～6 月 4 日フランス・リヨン)参加のツアー準備(佐倉草ぶえの丘バラ園が表彰されるため) 	<ul style="list-style-type: none"> ・佐倉ばら会会員の庭園の観賞会の実施 会員へ案内状を送付 ・佐倉草ぶえの丘バラ園のバラ観賞会 日時 5 月 30 日(金) 午前 10 時～正午 場所 佐倉草ぶえの丘バラ園 ・野村和子氏によるサロントーク 日時 7 月 12 日(土) 午後 2 時～4 時 場所 佐倉草ぶえの丘 資料室 ・日帰りバスツアー 10 月下旬～11 月初旬ザ・トレジャーガーデン(群馬県館林市)を予定 ・バラ剪定講習会 平成 27 年 1 月中の土曜日に開催を予定 (NPOバラ文化研究所主催の講習会に参加) ・その他 バラの写真展の開催準備等について協議 	<ul style="list-style-type: none"> ・JR 佐倉駅北口前景観整備事業(佐倉市との協働事業) 植栽及び手入れ(4 月・7 月・9 月・11 月) 7 月下旬～9 月上旬 手入れ(草刈り、水やりを、佐倉ばら会、市(産業振興課)により重点的に実施) ・志津コミュニティセンター 植栽及び手入れ(4 月・7 月・9 月・11 月) 日常の水やり等は志津コミュニティセンターの担当者が実施
		<p>JR 佐倉駅北口駅前ガーデンの整備</p> <p>志津コミュニティセンターのガーデンの整備</p>

以上の事業については、予定ということで、今後、変更になることもありますので、ご了承ください。皆さんも何か事業のアイデアがございましたら、事務局までお知らせいただければ幸いです。

INFORMATION 佐倉ばら会へのお誘い

佐倉ばら会の活動に、皆さまのご支援、ご協力を、お願いいたします。

佐倉ばら会 (Sakura Rose Society) は、バラやガーデニングの愛好家である会員相互の親睦を図るとともに、バラ文化の継承及び発展に寄与することを目的に、平成 22 年(2010 年)3 月に設立されました。これまでに、バラに関連した親睦事業や、バラの剪定・接ぎ木の講習会、バラに関する講演会、志津コミュニティセンターの敷地内にバラと宿根草のミニガーデンの寄贈、佐倉市との協働による JR 佐倉駅北口前の景観整備事業の実施等、様々な活動を行ってきました。平成 26 年(2014 年)度も、多彩な事業を展開していく予定です。これらの事業を通して、私たちの住む佐倉が、園芸による文化薫るまちに、また、潤いと感動のあるまちになっていくことを願っています。佐倉ばら会では、会員を募集しています。各種事業を通じて、会員相互の親睦を図りながら、バラや植物の知識を習得し、佐倉のまちを美しく、潤いのあるまちにしていきたいませんか。正会員の年会費は 3,000 円、会員の皆さまには、下記のような各種特典もございます。

その他、佐倉ばら会事務局までお問い合わせください。また、ホームページからも申し込みが出来ますので、ぜひご覧のうえ、お申し込みください。



・会員特典の内容

レストラン ヴォナフォルトゥーナ (イタリアンレストラン)	佐倉草ぶえの丘	佐倉草ぶえの丘内 ローズテラス	日本サーナ株式会社(サーナピア)
会員を含むお客様で、お一人 2000 円以上ご飲食の場合、合計金額より 10%引き。	入場料割引あり(通常 410 円)	500 円以上お買い上げの方に、特製ばらのマドレーヌ 1 つ(180 円相当)をプレゼント。	10%引き (一部商品を除きます)
〒285-0854 佐倉市上座 498-7 松村ビル 1 階 (☎463-7147)	〒285-0003 佐倉市飯野 820 (☎485-7821)	〒285-0003 佐倉市飯野 820 (☎488-4845)	〒285-0801 佐倉市木野子158 (☎498-2244)